KEY PERSON

舞台裏にこそ熱い想いあり。

「こすもっぺ」は市ではなく、有志のメンバーで支えられています。

夏まつり実行委員会
今川委員会委員長
西村　政彦さん

この想いを次の世代へ。

コロナ禍から４年ぶりの開催となった昨年、舞い上がる花火の向こう側に、光に照らされた皆さんの笑顔を見ました。すべての苦労を忘れさせてくれた瞬間です。

コロナ禍に生まれた子どもたちは当時すでに４歳、大きな花火を見たのは生まれて初めてだったそうです。

時代の流れが早い昨今、私たち実行委員は次の世代を担う子どもたちに、大人として何ができるかを考えるようになりました。

多くの言葉は要りません。自身の手を握る大きな手、逸る気持ち、その時見た鮮やかな光景は大人になってもきっと記憶に残り、さらなる世代へ受け継がれるでしょう。

夏まつり実行委員長
岡本　浩一郎さん

忘れえぬ情景のために。

先輩方が創り上げてきた夏の思い出「こすもっぺ」。今川に打ち上がる花火は、子どもの頃から忘れえぬ情景となっています。

実行委員長を努めるにあたり、この情景が沢山の方の努力によって支えられていることを改めて実感しました。

今川を彩る露店、勇ましく進む神輿、皆が一体となる総踊り、安全のための体制…。関われば関わるほど、実行委員の団結力に脱帽し、行橋がより好きになっていきます。

忘れえぬ情景は、皆さんの想いや笑顔によって完成します。フィナーレを迎えるとき、どんなことに想いを馳せますか？

「まちの名もなきヒーロー」達とともにに今年の「こすもっぺ」を創っていただければ幸いです。

ATTENTION

子どもたちは“あなたの行動”を見ています!

「行橋のまつり、意識低くない？」と言われないために

01 臨時駐車場とシャトルバスを利用しよう

メイン会場となる今川河畔周辺では、例年どおり交通規制が敷かれ、多くの道路が歩行者専用道路となります。

メイン会場へのアクセスは、公共交通機関とシャトルバスの利用が便利です。

車でお越しの方は、臨時駐車場（無料）を利用してください。

02 車も歩行者もルールは絶対守ろう

歩行者専用道路や通行止め箇所に車は進入できません（自転車は押して通行することは可）。また、歩行者が赤信号で道路を横断することは、交通事故や渋滞の原因となる迷惑行為です。車も歩行者もルールは必ず守りましょう。子どもたちも“あなたの行動”を見て、真似をするはずです。